

製品名: CLC-6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08925**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	97kDa

抗原情報

遺伝子名	CLCN6
別名	CLCN6; KIAA0046; Chloride transport protein 6; Chloride channel protein 6; ClC-6
遺伝子 ID	1185.0
SwissProt ID	P51797
免疫原	抗血清はヒト CLCN6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 611-660

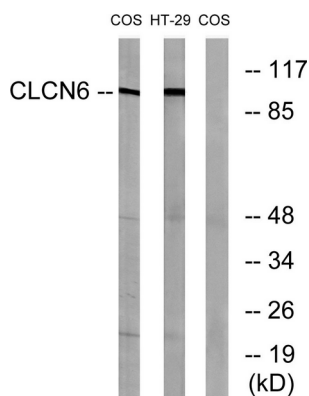
背景

塩化物電位依存性チャンネル 6 (CLCN6) ホモサピエンス この遺伝子は、電位依存性塩化物チャンネルタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、塩化物チャンネルまたは対向輸送体として機能します。このタンパク質は主に後

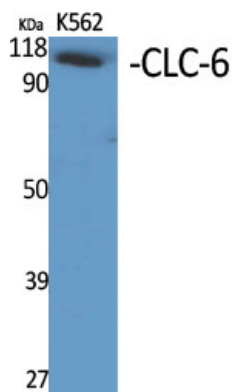
期エンドソームに局在し、塩化物/プロトン対向輸送体として機能します。選択的スプライシングにより、コーディングバリエーションと非コーディングバリエーションの両方が生成されます。追加の選択的スプライシングバリエーションが記載されていますが、それらの完全長構造は不明です。[RefSeq 提供、2012年3月]機能: 塩化物輸送タンパク質。最初は電位依存性塩化物チャンネルとして同定されました。保存されたゲーティンググルタミン酸残基の存在は、これが対向輸送体として機能することを示唆しています。、その他: CLCチャンネルファミリーには、塩化物チャンネルと、塩化物または他のアニオンをプロトンと交換するプロトン結合アニオントランスポーターの両方が含まれます。保存されたゲーティンググルタミン酸残基の存在は、アンチポーターとして機能するファミリーメンバーの特徴です。、PTM: 複数のアスパラギン残基に N-グリコシル化されています。、類似性: クロライドチャンネル (TC 2.A.49) ファミリーに属します。、類似性: 2つの CBS ドメインを含みます。、細胞内局在: 界面活性剤耐性脂質ラフトで検出されます。、組織特異性: 精巣、卵巣、小腸、脳、骨格筋。大動脈および冠動脈の血管平滑筋細胞、ならびに大動脈内皮細胞で低レベルの発現が見られます。アイソフォーム C は腎臓でのみ検出されます。、

研究分野

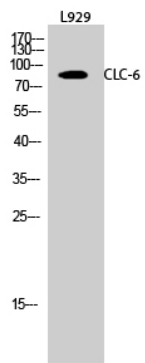
画像データ



CLCN6 抗体を用いた COS7 細胞および HT-29 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



CLC-6 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット解析した。



CLC-6 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた L929 細胞のウェスタンブロット解析